

一月十九日第五回連絡懇談會ノ概要

(泰、佛印紛争調停ニ關スル緊急處理要綱ノ件)

其一

- 一、泰國二見公使ヨリノ電報ニ基キ早朝海軍側ヨリ陸軍省ニ對佛印及泰處理要綱ニ關シ提示アリ陸海軍務局長ニ於テ一案ヲマトム
- 二、日曜朝食ハ連絡懇談會出席者ノ恒例會食アリ
- 三、右會食ニ引續キ連絡懇談會ヲ開催シ陸海軍ヨリ第一項ノ處理要綱ヲ提案ス

四、松岡曰ク(1)本案ハ考慮研究スヘシ

(2)英米ニ對シ大ナル刺戟ヲ與フルコトナキヤ果シテ可ナ

ルヤ

0026

(ハ) 本案ノ成否ノ見透ハ疑問ナリ或程度ノ得スルコトアル
ヘシ

(ニ) 泰ニ對スル效果ハ同國カ英國ト親イ關係アル故期待シ
難イ

(四) 經濟交渉ハ進シテイルカ本案ニヨレハ米ハ採レナクナ
ルカヨキヤ

某日ク 米ハカリ心配スルナ

目下ノ問題ハ泰佛印ニ英米ヲ入レナイト云フコトニアル

參謀總長 直チニ南佛ニ兵力ヲ出ヌ譯テハナイ

日ク

軍艦ノ派遣、北部佛印ニ兵力増加等五日ヨリ大體ノ目的
ニ達シ得ルモノト思フ

五、以上問答ニテ會議ヲ打切り外相研究ノ結果意見アレハ更メテ連絡懇談會ヲ開クコトニ決ス

其二

一、午後三時外相ノ提議ニヨリ午後四時ヨリ引續キ首相官邸ニテ懇談會ノ再開、總長及第一部長出席ス

經過左ノ如シ

三、松岡發言

本日晝「ロバン」ト面談ス

「ロバン」曰ク、予ハ日佛親善ニ努力シアリ

松岡曰ク、日本ハ調停ニ乗り出ス積リナリ

0028

「ロマン」曰ク、本夜調停ニ關シ「アシリー」ト打合スヘシ

「ロマン」曰ク、武器ヲ棄ニヤルハ困ル

松岡曰ク、前カラノ約束ニテ止ムヲ得ス

「ロマン」曰ク、戦争ヲ始メタ以上武器供給手控ヘラレ度

松岡曰ク、東洋人ハ約束ヲ確守スルヲ以テ其ノ點諒承セラレ度

松岡曰ク、調停ニ乗出ス以上手控ヘル如ク努力ス此ノ前ニ調停ヲ

申入レタル際拒絶シタルニカカハラス今回英米ノ申入

ニ應スルカ如キハ帝國ノ面目及國論指導上之ヲ許容シ

難シ日本ハ英米ト事ヲ構ヘルコトヲ希望セス他方棄ハ

「アシヤ」ノ一國ナリ佛印トモ親密ニヤリ度ト思フカ

故ニ再ニ調停ニ出テント思フ

決シテ不公平ニセス故ニ「アンリー」ニ口添ヘセラレ
度

三、「ロベシ」トノ右會見狀況ヲ説明シタル後松岡更ニ發言シ^提案ノ
要綱案ニ就テハ本件ハ武力背景ニヨラサルヘカラスト思考シ調停
ト武力行使トノ關係ニ就キ先ツ兵力使用次テ調停ト一應考ヘタル
モ狀況切迫シアル現在調停出來ル様ニスルヲ先決ナリト考ヘ調停
ノ妨害トナルロトヤ交渉シ難イコトハ手控ヘ度即チ秘密當然洩レ
英米ヲ刺戟シ又「ヒブシ」ニ對シ義務付ケトナル様ナ軍事協定ハ
從來ノ如キ援助ノ程度ヲ以テシテハ成立不成功ト思フ次第ナリ
再言スレハ松岡ノ考ヘテハ居中調停ヲ兩國間ニ成立セシムルコト
ヲ眼目トスル以上協定迄持出スノハ不同意ナリ

0030

右ノ如ク考ヘルニ依リ一ノ(三)ハ好機ヲ捕ヘテト修文シ先ツ停戦シ
先方ヨリ協定ヲ申出テタル場合協定ヲ提案スルコトト致シ度
元來ノ希望ハ一ノ(三)ハ削除シ度キナルモ然シ乍ラ本修文ノ程度ニ
テ行キ度

四松岡發書ヲ續ケ三ノ(二)ハ午前ニハ取消ス様提案シタルカ機ニ經濟
的、政治的、優先的利益ヲ認メルト云フコトアルヲ以テ復活致シ
度其ノ代リ「自衛上」ヲ「斷シテ」ト修文致シ度

五三ノ(三)ニ就テ海軍大臣提案シ「直ニ」ヲ削除ス其ノ理由トシテ曰
ク、尾柄、那珂其他驅逐艦等海南島ニ大型飛行機、航空母艦等高
雄ニ在リ又威壓ノ一部ハ既ニ實行シアリ

六次テ松岡ハ「ルーマユヤ」同様泰カ三國同盟ニ入ル様ニナルカモ

知レスト發言シタルニ對シ近藤軍令部次長ハ本問題ヲ東洋ニ獨逸
カ手ヲ出スコトニナルハ不同意ナリト述フ、松岡ハソウ窮屈カラ
ンテモ宜カルヘシト述ヘタルニ對シ軍令部次長ハ本件ハ連絡ノ上
述ヘ度ト結ヘリ

以上ヲ以テ意見一致別冊ノ如ク泰佛印紛争關係ニ關スル緊急處理要
綱決定ス

セ更ニ松岡曰ク、本夜「ロバン」ハ「アンリー」ニ會フヘキヲ以テ
コチヲノ意見ハ「アンリー」ニ通スヘシ又「ヴシー」政府、「ト
ク」及「壽」ニハ「否」ト答フコトハ云ハサナイ様ニ通告ス
尙獨逸大使ニモ本件ヲ通告シオヒテ吳レト述フヘシト附言セリ
總長ハ北佛ニ對スル交代兵ノ重複ニ關シテハ直ニ處置ス又將來南

0032

佛ニ對シ出兵スルヤ否ヤハ考ヘツツアリト述ヘタリ
八尙本處理要綱ハ政府、統帥部共ニ上奏セス本方針ニ基ク處置ニ關
シテ上奏スルコトニ打合ヌ

日本標準規格 B-4

0033